地方創生☆政策アイデアコンテスト2015
最終審査会＆表彰式
平成２７年１２月１３日（日）
東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

地方創生☆政策アイデアコンテスト2015

「さらに良質なベッドタウン24」をめざして

都市を支える人たちが安心して楽しく暮らせる良質なベッドタウン西東京市
～ターミナルマルシェと吉祥寺エクスプレスの提案～

募集テーマ：E　その他

東京都西東京市
チーム24分ですむまち

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

チーム24分ですむまち

「誰でも参加できるオープンなコミュニティー」（今からでも参加可能）

特定の大学、企業、団体に帰属しないチーム

それぞれ本業は別にもつ市民8名から構成

自分たちのまちを良くしたいという強い思いで、
それぞれが可能な範囲で参加

ワーキングマザー

地元企業経営者
（タクシー、建設業、地域振興）

IT企業社員（都心勤務）

地元FMスタッフ

NPO理事(子育て)

様々なスキルセットのコラボレーションとシナジーの創出

多摩信用金庫主催のRESAS勉強会に参加した有志が西東京市でRESAS勉強会を独自に企画、実施（2015年6月）

西東京RESAS勉強会をきっかけに
チームを結成

チーム結成後、ちょうど良いタイミングで
RESAS政策アイデアコンテストを知り、
応募

議論はFace to Face Meeting以外にFacebookなどSNSを活用

会議は平日夜間、祝休日、多忙のため全員が会議に出るのは無理
➡SNSでキャッチアップ！

コミュニティFM（FM西東京）が会議室を提供

市民力とデータを結び付け、現実的な提案につなげていく

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

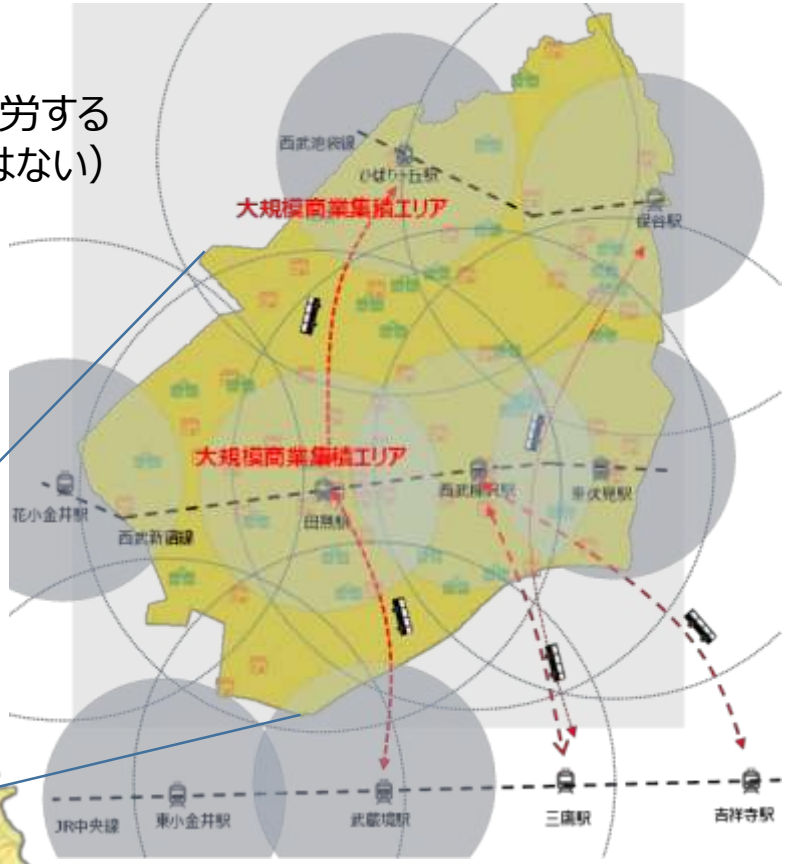
西東京市 ～中央でも地方でもないまち～

- 東京23区（練馬区）西側に隣接し、武蔵野市、小金井市、小平市、東久留米市、新座市（埼玉県）に囲まれた人口20万人規模のまち
- 2001年に旧田無市と旧保谷市が合併して誕生
- 就労者の75.3%が市外（東京23区へ42.9%）に就労する典型的なベッドタウン（大企業が集積するビジネス街ではない）

「チーム24分ですむまち」名称の由来はここから

① 西東京➡にしとうきょう➡**24**とうきょう

② 24分以内で事足りるまち(用が**"すむまち"**：済む or 住む)
- 市内5駅から徒歩圏内にスーパー、コンビニ、病院、小中学校
- ひばりヶ丘駅⇔池袋駅　14分　（電車）
- 田無駅⇔西武新宿駅　21分　（電車）
- 西武柳沢駅⇔吉祥寺駅　15～20分（バス）



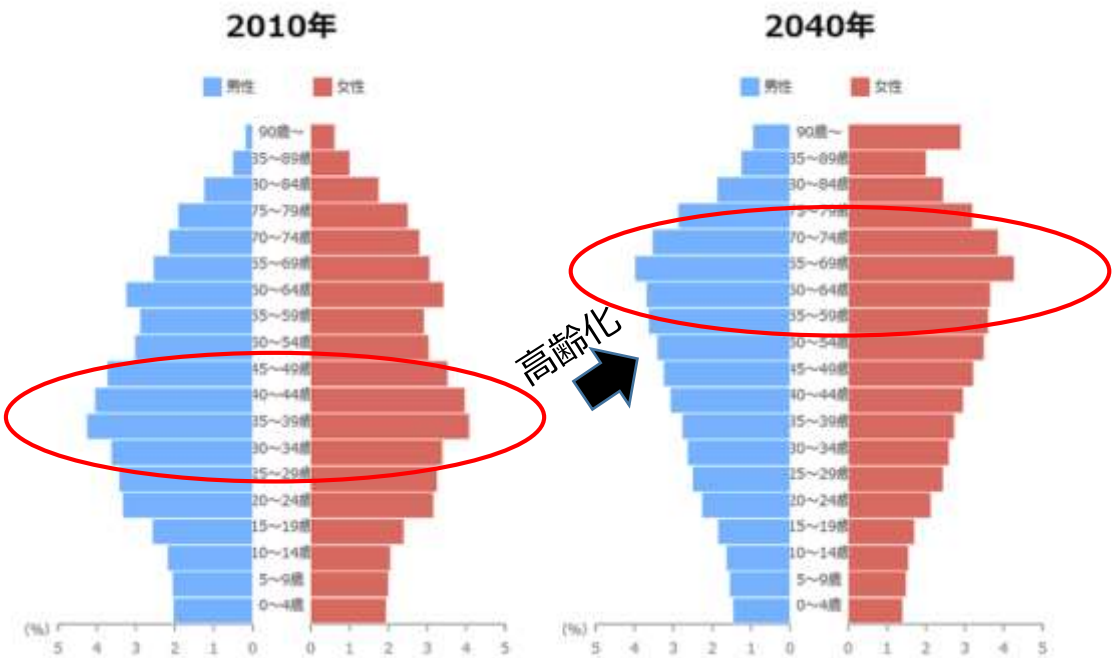
「多摩六都科学館プラネタリウム」 世界最多の星が投影（世界一に認定）
「国史跡　下野谷遺跡」 縄文時代の大集落（南関東最大級）
「東伏見稲荷神社」　（新東京百景）

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

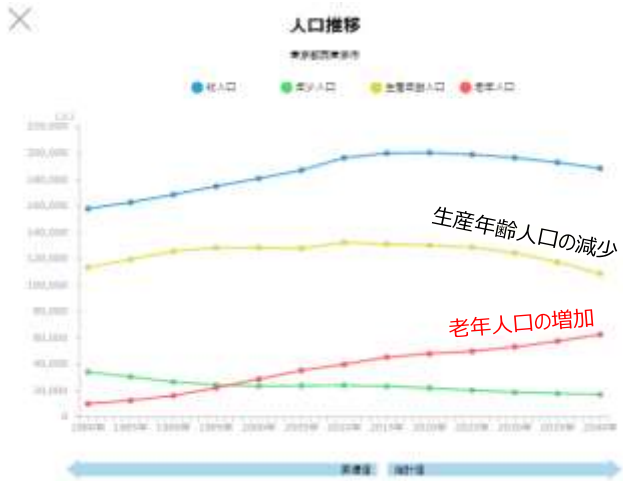
課題

さらに良質なベッドタウンにすることで、人口の社会流出を抑え、社会増をめざす

西東京市は東京に位置しながらも、多くの地方都市同様に、
将来的な生産年齢人口の減少、65歳以上の人口増加などの諸問題を抱えている



RESAS人口マップ　人口構成　人口ピラミッド



RESAS人口マップ　人口構成　人口推移

<u>人口問題を解決する手段</u>

① 人口の自然増をめざす

② 人口の社会流出を抑え、社会増をめざす

チーム24分ですむまちは、
②にフォーカスを当てた。

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

提案のコンセプト

都市を支える人たちが安心して楽しく暮らせる良質なベッドタウン西東京市

1．西東京市の特長を見つけて、活かす提案とする
既にあるリソースを組み合わせてシナジー効果を狙う

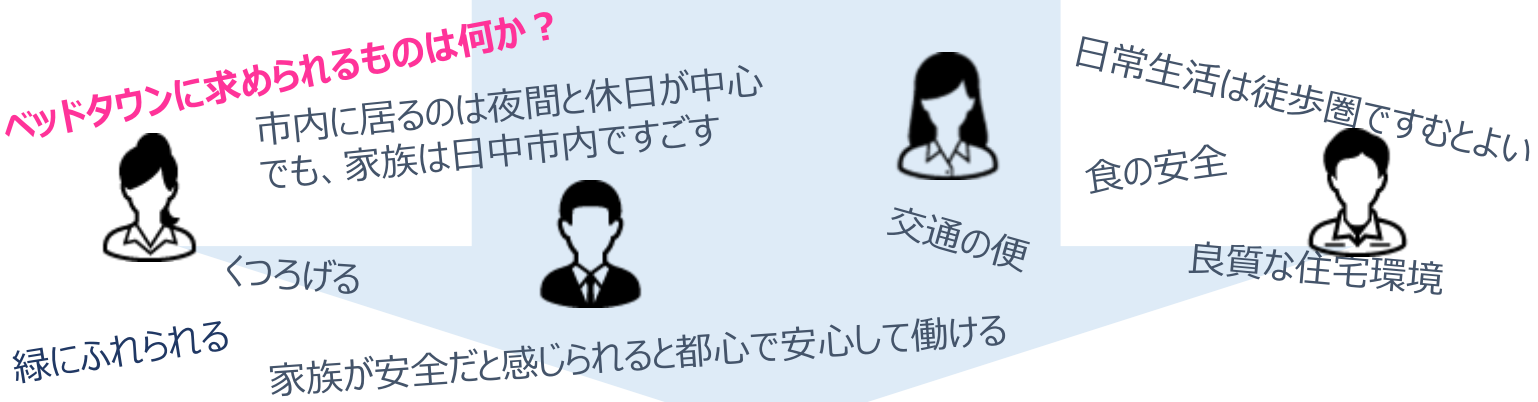
2．身の丈に合った実現可能な提案とする
大企業を誘致して新たな産業拠点とするなどの提案はしない

3．RESASその他の客観的データの活用による分析から検証可能な提案とする
カンや経験のみに頼らず、データで効果を裏付ける

西東京市の特長を活かした提案

西東京市は典型的なベッドタウン

- 多くの市民が市外で働き、休日の食事、ショッピングなどの余暇も市外で楽しむ
- 一般的にありがちな、西東京市単独で産業振興などを考えるよりも、周辺都市と共存・補完・連携しあえるまちをめざすのが良いのではないか？ （ベッドタウンとして安心して快適に過ごせるまちをめざす）

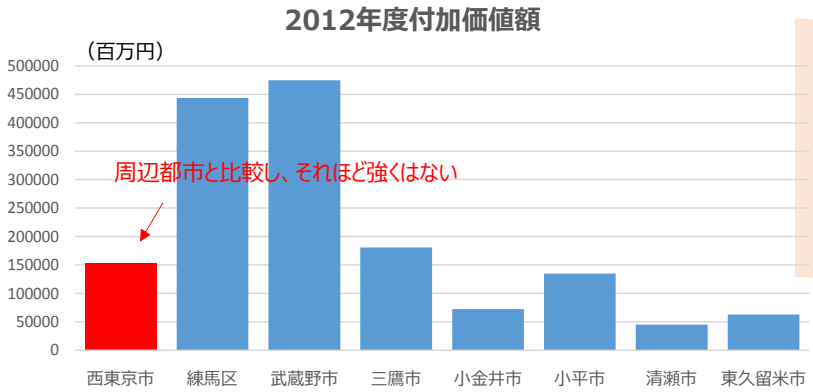


客観的データ（RESASなど）を活用した分析と議論

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

RESASを中心とした分析

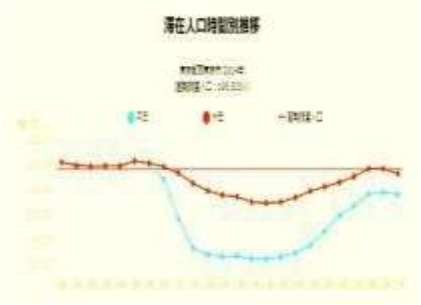
①西東京市単体で稼ぐ力はそれほど強くない
（主力産業といえるものはない）



RESASデータ「付加価値額_市区町村_産業大分類.csv」（2012）より作成

②市民の多くが市外で働き昼間人口は少ない
（典型的なベッドタウン）

2010年国勢調査から作成
（資料提供 多摩信用金庫）

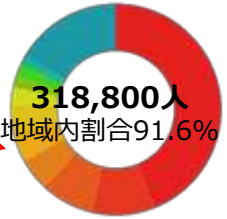


2014年　RESAS滞在人口時間別推移

③休日は武蔵野市への訪問が多い
（多くの市民や不動産会社が人気のまち「吉祥寺へのアクセス」をメリットとして挙げている）

1位 東京都武蔵野市 140,300人（44.0%）
2位 東京都三鷹市 31,000人（9.7%）
3位 東京都杉並区 25,900人（8.1%）
4位 東京都練馬区 16,100人（5.0%）
5位 東京都西東京市 14,700人（4.6%）
6位 東京都小金井市 13,900人（4.3%）
7位 東京都世田谷区 8,100人（2.5%）
8位 東京都調布市 5,700人（1.7%）
9位 東京都小平市 5,600人（1.7%）
10位 東京都府中市 4,700人（1.4%）
その他 52,800人（16.5%）

滞在人口/都道府県内
（市区町村単位）



RESAS観光マップFrom - to分析（滞在人口）2014年

④農業は主力産業ではないが、直販比率が高いことは特徴的
（地産地消、食の安全、マルシェが受け入れられる可能性）

RESAS農作物の出荷先別経営体数の割合

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

＜提案＞ターミナルマルシェ＋吉祥寺エクスプレス

ベッドタウンとしての魅力を高める

昨今の食の安全・地産地消の流れを受けたマルシェ

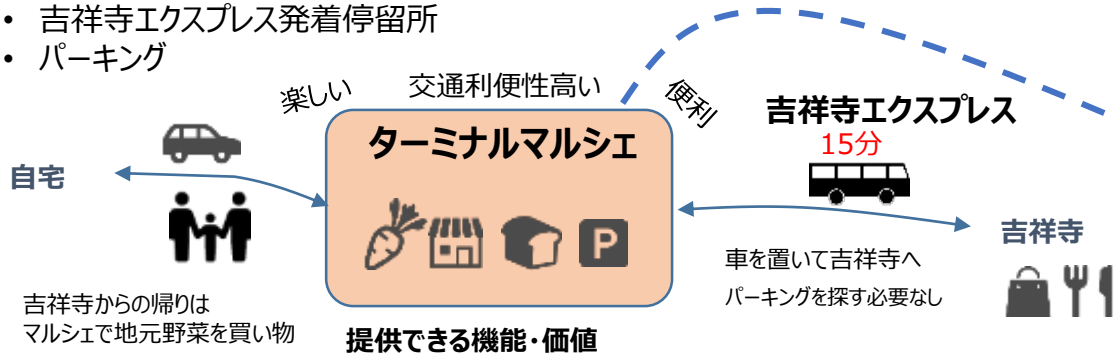
多くの市民が訪れる吉祥寺へのアクセス向上

パーキング、バス停留所を備え、訪れて楽しいターミナルマルシェと吉祥寺エクスプレス

ロケーション
- 東京都立東伏見公園内の一角にターミナルマルシェを設置
- 青梅街道と調布保谷線が交差する交通の要所で車でのアクセス良好
- 西武柳沢駅から徒歩6分

交通（吉祥寺エクスプレスの設置）
- 田無駅⇔ターミナルマルシェ⇔吉祥寺駅をノンストップで走るバス便を運航（コミュニティバス、コミュニティタクシーも検討）

ターミナルマルシェの機能
- 市内農産物、加工品の販売
- 吉祥寺エクスプレス発着停留所
- パーキング



東京都西部公園緑地事務所サイトから
http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/seibuk/shoukai/higasihusimi.pdf

提供できる機能・価値
- 地元農家の顔の見える農産物販売（食の安全、農業振興）
- 創業、雇用の機会提供(加工作業)
- 子育て応援（安心できる素材）
- 利便性
- 散策、くつろぎ

＜周辺はくつろぎスポット＞
- 東伏見稲荷神社
- 石神井川遊歩道
- 下野谷遺跡公園
- 東伏見公園

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

ターミナルマルシェと吉祥寺エクスプレス 実現に向けたロードマップ

実証実験

2016年度

ターミナルマルシェと吉祥寺エクスプレスのニーズを掘り起こし、ビジネスモデルを構築するため、駅前商店街の空き店舗などを活用した小規模マルシェ（ステーションマルシェ）の実施と吉祥寺へのアクセス手段確保を試行する。

＜ステップ１＞駅周辺の空き店舗を活用したステーションマルシェの試行
（ニーズとビジネスモデル）

- 比較的低コストで開始
- 駅前商店街の活性化
- 顔の見える農産物、手工芸品などの販売
- 市内の農産物を使った新たな半加工品ビジネス創出
- 通勤帰りのワーキングマザー、ファザーの利便性向上
- ミッドナイトマルシェ、ワンコイン屋台
- 癒し、リラックス系の店舗の試行

＜ステップ２＞ステーションマルシェから吉祥寺へのアクセス確保の試行
（ニーズとビジネスモデル）

- アクセス手段の提供（バス、乗り合いタクシー、オンデマンドバスなど）
- 非日常としての吉祥寺ライフを楽しみ、帰宅時にマルシェで野菜などを購入
- 吉祥寺から野菜を求める客を集客

課題の抽出とビジネスモデルの創出

実証実験の知見

西東京市に関係する様々な資源
（ヒト、モノ、カネ、情報）

本格実施

2020年度

＜ステップ３＞ターミナルマルシェと吉祥寺エクスプレスの実現

- 想定する設置場所を管理する東京都、西東京市、市民によるプランニング
- 便利で、楽しく、潤いのある住環境、ビジネス環境の創出
- 西東京市のみならず、周辺エリアを巻き込んだ地域活性化

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

さらなる発展へ ～西東京市の可能性ある資源とプロデュース力～

プロデュース力ある市民やメディアの協働によって、各資源が結びつき新たな取組が生み出される

西東京市の活力を生み出す資源

学びの機会
下野谷遺跡（国指定縄文中期の集落群）
多摩六都科学館（地域の知の拠点）
東大生態調和農学機構（30ha以上の農地、演習林）
民族学博物館発祥の地
おでかけ図鑑（見学ポイントや散策ルート）
大学（東大、早稲田大、武蔵野大）

産業・商業・農業
一店逸品事業（商工会事業おいしい店、素晴らしい技能）
商工会ものづくり部会（精密機械工業中心の連携）
ユニバーサルツーリズム（障害の有無によらず移動を応援 ）
西東京市農のあるくらし（積極的に都市農業をアピール）
積極的農家（ニイクラファーム、田倉農園など）
スカイタワー西東京（西東京市のランドマーク的存在）

情報発信メディア
FM西東京（コミュニティFM、地域のハブ）
J:COM（ケーブルTV、地域のイベント紹介 ）
タウン通信（週刊タウン紙）
ひばりタイムス（西東京市中心ニュースサイト）
きらっとシニア（シニアによる情報発信紙）

家検、良質な住宅の認定、流通
ウエスト東京不動産流通ネットワーク

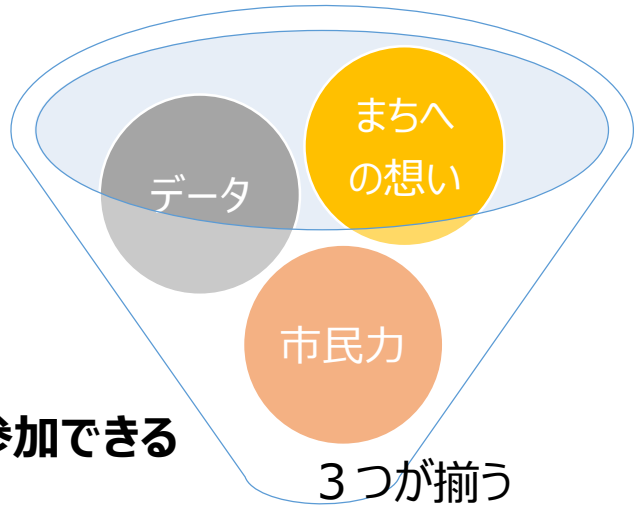
災害時協定
市内タクシー業者災害時における応急対策活動
高齢者施設震災時相互応援（市内19施設連携）

市民・文化
ビジネスパーソンの発掘
ままペンシル（主婦ライターチームによる取材、発信）
ユニバーサルタクシー（ドライバー介護有資格者）
西東京市民映画祭（西東京シネマクラブ主催）
ひばりが丘団地再生（団地再生、新しいコミュニティつくり）

子育て支援
NPO子どもアミーゴ西東京（学童・児童センター運営）
こそだてフェスタ（30以上の子育てグループ）

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

地方創生へつなげるフレームワーク

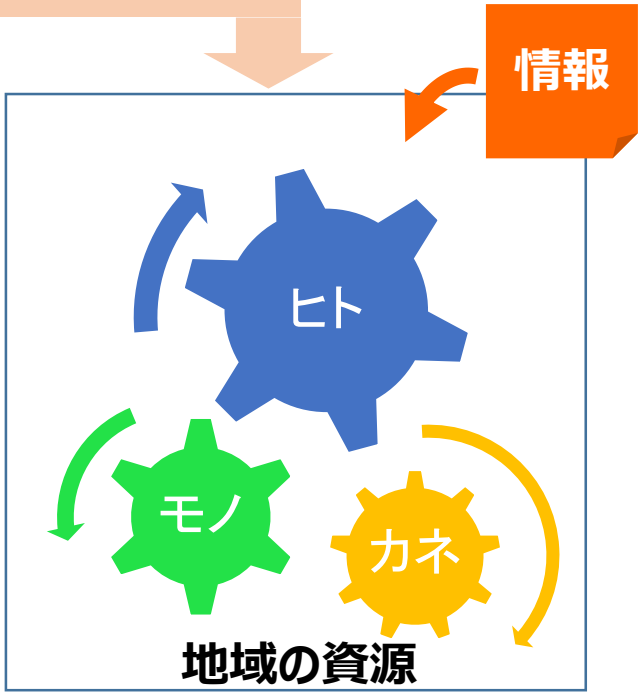


今からでも参加できる

３つが揃う

行動

動かす



無限大の化学反応の連鎖

未知なる可能性の高さと結果

予想できないこと

面白い仕組み

地方創生

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

今後の方向性

本政策提案コンテストは市民を議論に巻き込む一つのトリガー

多くの市民を巻き込み、より大きな動きにつなげていきたい

既に動き出している事例

- 西東京ビジネス交流会 （11/18） 50名参加
- RESASカフェ実施（11/26） 40名参加
- Facebookページの立ち上げ市民の巻き込み
- 提案内容の批判も含めて、市民を中心とした議論活性化
- メディアを通じて活動の露出増加（FM西東京、ひばりタイムズなど）
- 西東京市市役所も注目（総合戦略（中間のまとめ）（案）に反映）

本コンテスト最終審査に残ったことは市民にとって大きなインパクトがある！

※本日の模様はFM西東京で放送予定 (12/18)

一人ひとりが思いを持って行動することが地方創生につながるはず
相互補完関係にある周辺都市の人々とも議論、連携し、
西東京市だけでなく地域全体がより活性化する仕掛けを作っていきたい

もう、行動は、始まっている・・・

Copyright©2015 チーム24分ですむまち

ご清聴ありがとうございました。

西東京市のまちづくりをより良いものとするため、
皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

皆さんの参加をお待ちしております！

東京都西東京市
チーム24分ですむまち

Facebook公開ページ
まちづくりグループ[ニシトウキョウのミライ]

https://www.facebook.com/groups/429321543929465/

Copyright©2015 チーム24分ですむまち